

モモ病害虫の発生状況（8月） 調査地点：福島地域9園地、伊達地域9園地

令和3年9月1日  
福島県病害虫防除所

(1) せん孔細菌病

新梢葉での発生ほ場割合は、平年よりやや低い状況でした（図1）。秋期防除を徹底し、越冬菌密度の低下を図りましょう。また、8月3半旬のまとまった降雨により感染が助長された可能性があるため、今後の発生動向に注意しましょう（8月30日付け防除情報参照）。

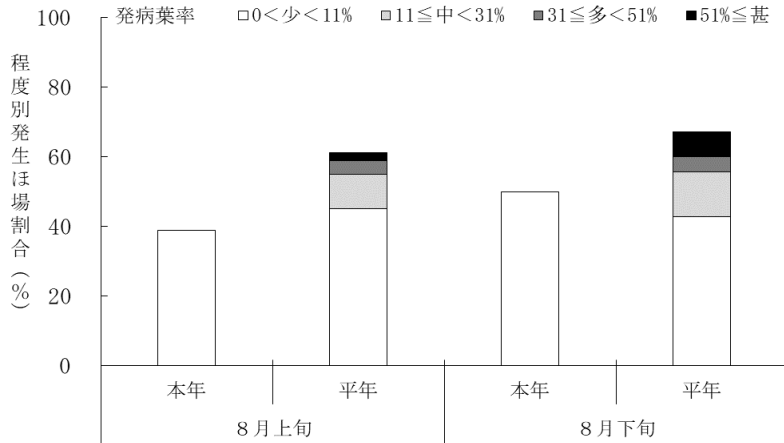


図1 新梢葉での発生状況（8月上旬、下旬）

(2) モモハモグリガ

新梢葉での被害は確認されませんでした。発生の多い場合は、収穫後にも防除を行い、越冬密度の低下を図りましょう。

(3) ハダニ類

新梢葉寄生の発生ほ場割合は、平年よりやや低い状況でした（図2）。

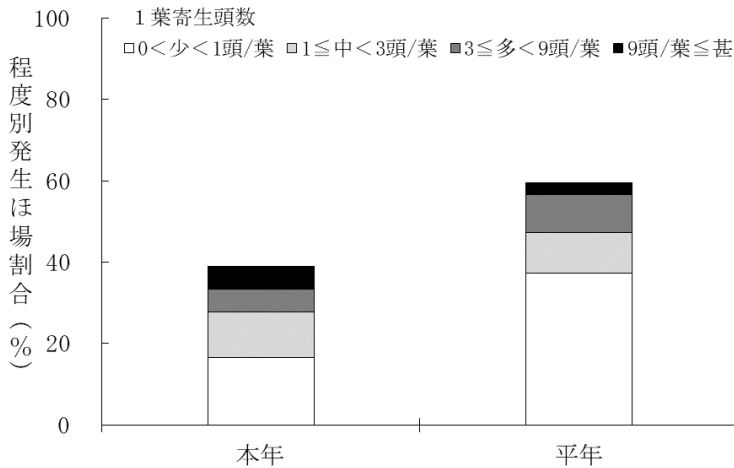


図2 新梢葉寄生の発生状況（8月下旬）